

若年層の性別役割意識チーム活動方針

1. テーマ（若年層の性別役割意識）設定の背景

若年層の性別役割意識チームを設置することになった背景(問題意識)は以下の通り。

令和3年度及び令和4年度に内閣府が実施した『性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査』では、若年（20・30代）男性が職場項目に関して強い性別役割意識を有する結果が出ている。

また、「第16回出生動向基本調査」によると、理想とするライフコースが男女ともに「仕事と子育ての両立」が最多であるにもかかわらず、今後予想するライフコースが女性の場合は「非婚就業」が33.3%と、初めて結婚を選択肢に入れない女性が最多となった。これは、共働きを理想としつつ、婚姻が現実と考えない層が一定程度いることを示しており、背景の一つとして性別役割意識があると考えられる。

そこで、2024-2025年度においては、既存の調査等を活用しながら、性別役割意識を生じさせる要因やその影響について検討・分析を行い、若年層の固定的な性別役割意識を解消するための方策を検討する。

2. チーム活動方針

有識者議員をメンバーとする企画会議（令和6年8月7日）にて合意したチーム活動の基本方針は以下の通り。

（1）独自調査の実施

先行調査や先行研究を基に、若年層に性別役割意識を生じさせる要因やその影響について仮説を立て、仮説を検証するために追加的に必要となるデータ等について検討を行い、連携会議構成団体や外部の主体等と連携しながら、若年層の性別役割意識に関するデータを充実させるための調査を実施する。

具体的には、若年層（18～25歳）層における固定的性別役割意識の実態と、その背景や形成経路の一端を明らかにすべく、独自のアンケート調査を企画・実施（詳細は後程説明）。

（2）有効な方策の検討

調査結果を踏まえて若年層の固定的な性別役割意識を解消するために有効な方策を検討し、実証するとともに、好事例を収集し横展開を図る。

3. 2024年度のこれまでの活動と今後の予定

・企画会議メンバーのミーティング（4～7月に3回開催）において、若年層の性別役割意識についての先行研究調査サーベイをもとに、問題意識を絞り込み、独自アンケートの設問内容を具体的に検討し、素案を作成。

- ・企画会議（令和6年8月7日）にて、アンケート実施方針を確認し、アンケート案を完成。
- ・調査会社に委託してアンケート調査を実施。

- ・調査結果を検討・分析し、結果を取りまとめ。

(参考：2025年度の予定)

- ・固定的な性別役割意識を解消するための方策の検討・実証
- ・固定的な性別役割意識を解消するための好事例収集・横展開

以 上